

平成28年度第2回 会下山遺跡整備・活用検討委員会 会議録

日 時	平成29年3月10日（金） 15:00～17:00
場 所	芦屋市役所北館4階教育委員会室
出席者	委員長 安部 みき子 副委員長 藤川 祐作 委員 江守 易世 委員 仲谷 由利子 委員 星野 剛一 委員 野間 靖雅 （欠席委員） 委員 船曳 純子 委員 花尾 廣隆 （事務局） 教育長 福岡 憲助 社会教育部長 川原 智夏 生涯学習課長 長岡 一美 生涯学習課文化財係長 竹村 忠洋 生涯学習課文化財係学芸員 森岡 秀人 生涯学習課文化財係学芸員 森山 由香里
事務局	生涯学習課
会議の公開	■ 公開
傍聴者数	0 人

1. 会議次第

- (1) 教育長あいさつ
- (2) 任命状交付
- (3) 審議事項
 - ①会下山遺跡のあらましについて
 - ②会下山遺跡を活用した体験学習について
 - ③その他

2. 提出資料

- ・資料1 ー 国指定史跡会下山遺跡パンフレット
- ・資料2 ー 国指定史跡会下山遺跡の特色を活かした体験学習について

3. 審議経過

【議題①】 国史跡会下山遺跡のあらましについて

(安部委員長)

それでは、議題1について、ご説明をお願いしたいと思います。

(事務局：竹村)

議題②に挙げている会下山遺跡の特色を活かした体験学習について、後ほどご検討いただくために、今一度、会下山遺跡の概要や特色・魅力などを整理し、説明します。

(事務局：森岡)

資料1に基づき説明。

(安部委員長)

ただいま事務局の方からご説明いただきましたけれども、なにかご意見、ご発言ありますでしょうか。

(事務局：竹村)

市内小学校の校外学習について、野間委員に伺います。以前、尼崎市の田能資料館に校外学習で行くことがあると聞きましたが、尼崎市や、兵庫県立考古博物館（大中遺跡）など、他市町の史跡に校外学習で行かれることはあるのでしょうか。

(野間委員)

最近は分かりません。私が学校にいたのは7年前ですが、兵庫県立考古博物館には1回ぐらい行ったことがあったかもしれない。それ以外に行くことがない。

(事務局：竹村)

会下山遺跡の魅力や価値は、学校教育の場で認識されているでしょうか。

(野間委員)

教科書での取り扱いも前より小さくなっています。あとは場所や交通の便の悪さの問題で、行きたくても行けないことが多い。

(江守委員)

学習に関して、朝来市の古代博物館が、学校に土器などを持って行き説明をする出前授業を実施している。そうすることで、興味を持ち、家族と一緒に試みようかなと思ってもらえるのではないかな。いつも、どうしたら来てもらえるかということを前提で考えているが、学校などに出向く方法もあるのではないかな。授業で時間が取れないのであれば、キッズスクエアなど放課後の時間等を活用する方法があるのではないかな。

(野間委員)

どこをターゲットにするかも重要だと思う。たとえば、6年の歴史として学ぶのであれば、出前授業として学校に来てもらうのも良いと思うが、3・4年生の地域学習であれば、現地に行かなければ意味がないと思う。どの学年で何を目標として会下山を扱うかによって、スタイルが変わってくると思う。

(事務局：竹村)

キッズスクエアでの活動については、来年度、具体化させる予定です。

【議題②】「会下山遺跡を活用した体験学習について」

(安部委員長)

議題②についてご説明をお願いします。

(事務局：森山)

資料2に基づき説明。

(安部委員長)

それでは議題2について、ご意見ございますでしょうか。

(江守委員)

会下山遺跡に立っている「この先、山手中学校です。立ち入り禁止」の看板について、今立っている場所（C住居付近）では、山から下りてくる人びとが、せっかくの復元高床倉庫やその下のL住居跡・M墓跡などが見学できない。場所を変えた方がよいのではないか。

(事務局：竹村)

遺跡の見学が目的でない方から、「行き止まりなら、はじめから書いて欲しい。」との苦情を受け、現在の場所に立てている。

(江守委員)

看板より先に行ってはいけない訳ではないので、「下に遺跡はあるが、その先、行けません。」など、文言を変えてはどうか。

(事務局：竹村)

私たちは、会下山遺跡に行くには、聖苑側の入り口を利用するのがほとんどですが、逆に他の入り口から山に入り、遺跡に下りてこられる方は多いのですか。

(江守委員)

多いです。

(藤川委員)

入口に設置したリーフレット入れは、よく活用されているか。

(事務局：竹村)

多い時で1日30人くらいです。

(仲谷委員)

山から下りてきて、遺跡を見学したり入口のパンフレットを見て興味を持った人がいた場合に、三条文化財整理事務所の存在がわからない。現在、三条文化財整理事務所の南側には看板があるが、北側にも案内が必要だと感じる。

(藤川さん)

今後の委員会については、どのようにまとめていく予定か。

(事務局：竹村)

これまでにいただいた意見等をまとめ、できるところと、できないところの整理をし、できることは実現させていきたい。できないところは、なぜできないのか理由も含めて整理したい。なお、はじめに説明したとおり、今後、史跡整備委員会を立ち上げたいと思っています。その際にはこの委員会でた意見なども引き継ぎたいと考えています。そのため、来年度に委員会を2回開催し、これまでの議論をまとめ、平成29年度に終了する予定です。

(星野委員)

前回の委員会で、船曳委員の話聞き、非常に面白い切り口だと感じた。私たちはどうしても会下山遺跡を文化財という目だけで見てしまうが、違う切り口も必要である。そういう意味では、資料2の②景観という切り口で見るとというのが、面白いと思う。

文化財という切り口からみた普及啓発においては、三条文化財整理事務所が重要な場所であるが、ここを整理する計画はあるか？

(事務局：竹村)

今後、中長期保全計画で改修を行う予定です。

(江守委員)

三条文化財整理事務所は土日が休みだが、団体からの開館要請があれば対応しているのか。

(事務局：竹村)

団体で事前に連絡を受けた時には、学芸員が解説も含めて対応している。

(仲谷委員)

登山道の整備はどうなっているのか。

(事務局：竹村)

一番ひどく壊れている部分は、今年度中に工事予定です。ただ、登山道全体となると、修繕は難しいです。

(仲谷委員)

登山道全体の補修計画はないのか。

(事務局：竹村)

今のところありません。整備となると、この委員会ではなく、史跡整備委員会を立ち上げて、史跡整備の一環として行う必要がある。

(安部会長)

はい。他によろしいでしょうか。

(事務局：竹村)

はい。ありがとうございました。それでは来年度、委員会のこれまでの意見をまとめ
いきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。本日は、どうもありがと
うございました。

<閉会>